

試験名

思春期・若年成人急性リンパ芽球性白血病におけるトランスクリプトーム解析（ALL202U-EWS）

研究事務局：早川 文彦（名古屋大学大学院医学系研究科病態解析学講座）

概要・目的

思春期・若年成人急性リンパ芽球性白血病（ALL）の発症の原因となる遺伝子異常、及び重篤な有害事象の発症につながる遺伝子多型性をゲノムワイドの網羅的な解析を行うことによって同定する。遺伝子異常が単独または複合的に思春期・若年成人 ALL の病態や予後に与える影響を検討し、分子病態に基づく新たな層別化システムを構築する。また、新たに同定された遺伝子の機能とその異常の解析により、ALL に対する新たな分子標的療法の開発へと発展させる。

対象

JALSG ALL-202U試験への登録症例で、登録時に随伴研究「ALLの病型診断および病態解明のための遺伝子研究」への参加と残余検体の保存に本人の同意が文書で得られている症例（20歳未満の患者においては親権者である代諾者の同意もあわせて必要とする）。

目標症例数

予定症例数：106 例、実施症例数：88 例